

2026 年 9 月 9 日

医療機関の長 殿

東北大学大学院医学系研究科長

石 井 直 人

東北大学病院長

亀 井 尚

東北広域次世代がんプロ養成プラン（エキスパートコース）及び
「がん薬物療法研修」（宮城県がん診療連携拠点病院，東北大学）のご案内

東北広域次世代がんプロ養成プランでは、がん専門医療者養成のために、連携 6 大学（東北大学、弘前大学、秋田大学、山形大学、福島県立医科大学、新潟大学）、協力 1 大学（岩手医科大学）及び宮城・青森・岩手・秋田・山形・福島・新潟の 7 県の全がん診療連携拠点病院の連携で、専門医・がん専門コメディカルの養成のためのエキスパートコース（社会人向け）を開講いたします。

同コースは、がん診療連携拠点病院のがん化学療法研修事業の一つである「がん薬物療法研修」の一環として開催されます。

つきましては、参加希望の施設は別添研修要項を参照の上、お申し込み願います。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

どうぞよろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】

東北大学病院 地域医療連携課

地域医療支援係（がんセンター事務局）

小口、茂木

TEL：022-717-7995

E-mail: hos-chiikiiryoushien@grp.tohoku.ac.jp

「がん薬物療法研修」開催要項

1. 概要

進行がん患者に対する標準的ながん薬物療法が、がん診療連携拠点病院の存在しない地域の医療現場においても普及、浸透し標準化されることを目指して、宮城県を中心とする東北6県及び新潟県における地域の中核的病院から医師、看護師、薬剤師を一つの診療チームとした研修を行う。この研修事業を通して、標準的ながん薬物療法についての啓発にあたるのみならず、地域の中核的病院とより一層の連携を図り、東北地方における進行がん患者の診療ネットワークを構築し、同地域の進行がん治療のレベルアップを目指して活動する。

なお、この研修は文部科学省事業東北広域次世代がんプロ養成プラン及びがん診療連携拠点病院がん化学療法研修の一環として開講する。

2. 目的

講習、実習などによる研修事業を介して、がん薬物療法に関する知識や技術、さらにシステムなどの習得を行い、がん診療連携拠点病院におけるがん薬物療法のノウハウを地域の病院に伝搬し、地域内におけるがん薬物療法の医療水準の均一化を図ることを目的とする。

3. 対象及び人数

がん薬物療法を中心的に行う医師、化学療法の実務者や管理者、将来リーダーとなることが期待される薬剤師、看護師各1名の計3名を1グループとする。

4. 研修及び施設見学日時

2026年11月25日（水）9：00～17：00 予定

※現地開催のみとし、webでの研修は行わない。

5. 研修プログラム及び施設見学スケジュール

別紙1「2026年度がん薬物療法研修プログラム」を参照のこと。

6. 申込方法及び締め切り

下記申込フォームへ必要事項を記入し、**2026年9月30日（水）まで**に提出のこと。

フォーム URL：<https://forms.gle/TEoYd4befzLyE3vu6>



（QRコード）

7. 定員

6施設18名とし、定員に達し次第、募集を締め切る。

8. 受講決定通知

受講決定に関する通知は、10月中旬までにメールで行う。

なお、通知受領後の参加の取り消しは、原則として認めない。

9. 修了証書の授与

課程の修了者には、修了証書を交付する。

10. その他

- (1) 参加費は無料。ただし施設見学に係る旅費等は、所属する機関で負担すること。
- (2) 受講決定後でも不適當な理由がある場合は、決定を取り消す場合がある。
- (3) 受講に必要な諸事項は、受講決定時に通知する。
- (4) 今年度の本研修は、日本医療薬学会（がん専門薬剤師）、日本臨床腫瘍薬学会（外来がん治療認定薬剤師）、日本病院薬剤師会（専門薬剤師・認定薬剤師（がん領域））の資格更新講義申請に登録していない。その他の資格更新ポイントに関する問い合わせは各自問い合わせること。
- (5) 申込み時の個人情報、本学個人情報保護規程に基づき、厳重に取り扱い、以下の利用目的以外では一切使用しない。
 - ①受講生への勤務先への緊急連絡のため
 - ②講師への情報提供のため
 - ③その他研修業務遂行のため

11. 主催：東北大学病院／東北広域次世代がんプロ養成プラン

共催：宮城県がん診療連携協議会

2026年度がん薬物療法研修プログラム（案）

11月25 日（水） 日程

開始時間	終了時間	所要時間	内 容	研修人数 （最大）	場 所	担当者
9:00	10:00	60分	腫瘍内科 症例検討会見学	18人	SGT室 （西16階病棟）	笠原 佑記 （腫瘍内科 助教）
10:00	10:20	20分	休憩・移動			
10:20	10:50	30分	看護部化学療法センター講義 「がん薬物療法における看護の実際」	18人	旧西病棟会議室1	村山 素子 （化学療法センター看護師）
10:50	11:20	30分	薬剤部講義 「がん化学療法における薬剤師の役割」	18人	旧西病棟会議室1	未 定 （薬剤部 薬剤師）
11:20	11:50	30分	ソーシャルワーカー講義 「療養生活を支える制度」	18人	旧西病棟会議室1	天野 泉美 （診療技術部 ソーシャルワーク部門）
11:50	12:50	60分	移動・お昼休憩・着替え			
12:50	13:00	10分	移動			
13:00	13:30	30分	病棟化学療法見学	18人	東15階病棟	看護師 （東15階師長）
13:30	13:35	5分	移動			
13:35	14:05	30分	【A】 看護部化学療法センター実習 ※	9名	化学療法センター （東4階病棟）	化学療法センター看護師
			【B】 薬剤部 抗がん薬調製演習・見学 ※	9名	薬剤部 （東2階病棟）	薬剤部
14:05	14:10	5分	移動			
14:10	14:40	30分	【A】 薬剤部 抗がん薬調製演習・見学 ※	9名	薬剤部 （東2階病棟）	薬剤部
			【B】 看護部化学療法センター実習 ※	9名	化学療法センター （東4階病棟）	化学療法センター看護師
14:40	15:20	40分	移動・休憩・着替え			
15:20	15:50	30分	歯科講義 「がん治療を受けられる患者の口腔管理」	18人	旧西病棟会議室1	飯久保 正弘 （周術期口腔口腔健康管理部）
15:50	16:20	30分	管理栄養士の講義 「がん薬物療法中の食事サポート」	18人	旧西病棟会議室1	佐々木 まなみ （化学療法センター・緩和医療科）
16:20	16:30	10分	質疑応答	18人	旧西病棟会議室1	司会（笠原 佑記） 医師・歯科医師・看護師・薬剤師 管理栄養士・ソーシャルワーカー
16:30	17:00	30分	院内見学	18人	がん診療相談室 ウィッグ相談室等	各窓口担当者

※「看護部化学療法センター実習」と「薬剤部 抗がん薬調製演習・見学」は、受講者18名をA群・B群（各9名）に分け、前半（13:35～14:05）・後半（14:10～14:40）で実習場所を入替えて並行実施する。